

令和5年度府中市立府中第九中学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

1 現状及び課題等

(1) 学習改善の視点（生徒の学び方）

- ① 自分の理解したことや考え方、考えたことなどを他人に説明したり表現したりする力が弱い。
- ② 学習に対して前向きな気持ちをもっており、学習方法も知っているが、それを活かして学習に取り組んだり、学習を継続したりする姿勢が弱い。
- ③ なぜ間違えたのか理由を明確にし、わからないことを理解しようとする力が弱い。

(2) 指導改善の視点（教師の指導方法）

- ① 前の時間までに学習した内容が本時の学習内容と結び付けていく。
- ② 生徒が理解していることや考えたことを他の生徒に説明する活動多く設定する。
- ③ 学習の振り返りの仕方を具体的に示すようにする。

2 学校全体で目指す授業像

(1) 目指す生徒の学びの姿

- ① 自分の考えを相手にしっかりと伝えられる姿。
- ② 落ち着いた学習環境の中で意欲的に授業に取り組むことができ、継続的に学習を進めることができる姿。
- ③ 間違いやわからないところをわかろうとする前向きな姿勢。

(2) 目指す授業像

- ① 既習事項と本時の学習内容を結び付けて理解を深めさせるために、基礎基本の確実な習得をさせる。
- ② 表現力を高めるために、自己表現活動の場面を多く取り入れる。
- ③ 何ができて何ができなかったのか明らかにするために、生徒同士が振り返りを行い、課題を共有する。

3 学校全体で取り組む授業改善の具体的な取組

(1) 各教科における授業改善のポイント【全学年共通】

国語	・「読むこと」を扱う単元においては、人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする指導を充実する。	美術	・見通しをもって作業を取り組ませるために制作カードを記入し、毎時間の進捗具合を意識させ時間内での完成を意識して作業させる。
数学	・数学の学習内容を生活に関連付けて捉えたり理解したりする活動を充実させ、学ぶ意欲の向上を図る。	技術	・問題解決能力を育むことを目指し、発達段階や学習内容を踏まえ、生活をより良くするための視点を常に意識した授業を実施する。
社会	・単元を通した学習課題を設定し、課題解決に向けた探究活動を主としてつつ、中学生としての考えを広げる授業展開を基本とする。	家庭	・生活をより良くするための問題解決の姿勢を身に付けられるようにする。自立のための基礎基本を身に付けられる授業を実施する。
理科	・既習事項と科学的根拠を基に論理的に考え、説明し、表現する力を身に付けるための活動を充実させる。	保健体育	・体力向上を主眼におき、学習カードの積極的な活用と生徒の主体的な取り組みを促していく。
音楽	・創意工夫をした音楽表現をするために、適切な題材を選び、実際に音楽表現をしながら試行錯誤する場面を多く設定する。	外国語	・基本的な表現を身に付け、活用するために、自己表現活動の場面を増やし、さらに、発話したことが正しい文で書けるようにする。

(2) 生徒用タブレット端末の活用

導入や展開の場面での教材の提示や配布と、宿題や成果物の回収等に使用しながら工夫改善を積み重ねていく。